

東濃社会教育だより

-社会教育・子ども会編-



恵那県事務所
振興防災課 振興防災係
社会教育担当:長瀬
〒509-7203
恵那市長島町正家後田 1067-71
TEL:0573-26-1111 内線 208

東海北陸社会教育研究大会で瑞浪市が実践発表を！

10月18・19日、大垣市にて「平成30年度第49回東海北陸社会教育研究大会岐阜大会・第10回岐阜県社会教育推進大会・西濃地区社会教育振興会議」が、東海北陸各地から800名を超える参加者のもと盛大に開催されました。東濃地区からも50名近くの方に参加いただきました。

大会初日は、岐阜聖徳学園大学教育学部教授の安田和夫先生による講題「みんな・いっしょに～多様性尊重教育～」の基調講演がありました。幼い頃に経験した子ども会や少年団での活動が、その後の生き方に大きく影響していることや、多様性尊重教育が大切なこと等、多くのことが学べる素晴らしい講演でした。

2日目は分科会において、瑞浪市社会教育委員会代表の有賀秀雄氏と羽柴誠氏が「社会教育委員の役割～公民館の現状把握から地域課題の解決策を考える～」を主題とした実践発表をされました。瑞浪市では、社会教育法に立ち返ったり、岐阜県社会教育委員の会発行の「もっと知ろう！社会教育委員」を参考にしたりして、社会教育委員の役割を再確認し活動を進められました。

昨年度までは、地域の声を公民館の取組と住民の姿から把握するため、公民館活動の「目標・着眼点・方策」の3観点に絞って市内にある6館の公民館の調査研究を行ってきたとのことです。社会教育委員が果たした役割として「①6つの公民館をつなげる」「②見学と協議により実態を把握する」「③共通の成果を整理し冊子にまとめる」「④館長会や担当者会での活用を働きかける」の4点が挙げられました。また、さらなる役割遂行のために、委員の選出方法を見直す提案も行ったそうです。今年度からは「現状把握を行うことで見えてきた地域課題」をもとに、テーマを「地域・家庭・学校の協働による地域づくりの取り組み～公民館活動を通して～」と決め、活動されています。

発表後には参加者からの質問や感想が多く出され、その中には「社会教育委員について自問自答していた時にこの発表を聴けてよかった。自分の市に活かして頑張ります。」という感想もありました。東濃地区の社会教育委員の実践を東海北陸ブロックの各地に発信できた分科会となりました。

今回の発表に向け、ご尽力いただいた瑞浪市社会教育委員の皆様、ご協議いただいた東濃地区社会教育振興協議会の理事の皆様、お疲れ様でした。



瑞浪市全6公民館に共通する 「着眼点」と「方策」

【着眼点】

- ・受講者減少・固定化という課題には、内容の吟味と情報手段駆使で立ち向かう。
- ・子は多様な世代を結ぶ「かすがい」である。子は地域の「宝」。地域で育てる。
- ・職員の改善意欲の高さ・創意工夫・行動力を充実させる。

【方策】

- ・講座内容の改善・開発、開催時刻、ネーミング、出前講座等
- ・情報発信手段の上手な活用（インターネット・広報紙・マスコミ）
- ・子ども向け講座の開設、夏祭りや文化祭等地域行事への出演・出店・ボランティア参加等子どもの活躍の場の提供
- ・実態把握→課題の洗い出しと目標設定→方策考案→実行→公民館活動充実

現状から見えてきたこと

- 「子は地域の宝。地域で育てよう」という共通の認識があること
- 公民館は地域の教育の拠点に十分なり得るということ
- 統合に伴う校区の広域化により、学校・家庭・地域の協働に難しさが増すということ

今年度のテーマへ

「地域・家庭・学校の協働による地域づくりの取り組み～公民館活動を通して～」

東濃地区ジュニアリーダー研修の様子から

～今日のピックアップ～

10月8日（月）に、多治見市根本交流センターにて、東濃地区ジュニアリーダー研修会が開催されました。

東濃地区ジュニアリーダーのメンバーは、この研修会を成功させるために、何度も運営委員会を重ねてきました。今年は、岐阜県子ども会育成大会での発表も重なったため準備も大変な様子でした。



今回の研修には、東濃5市で活躍するジュニアリーダーと各市の指導者、総勢50名の方が参加しました。午前の部では、2つのグループに分かれて、レクリエーションや初の試みであったお菓子作り（チョコレートブラウニー作り）にも挑戦し、親睦を深めました。研修は、仲間と協力して親睦を深めるもの、頭を使って想像力豊かに取り組むもの、体を使って楽しむものなど盛りだくさんの活動でした。お菓子作りでは、即席班にも関わらず、仲間と協力して美味しいお菓子を作る姿が見られました。アレルギー対策のために準備された「わらび餅」が思いの外美味しくとても好評でした。記憶力や想像力を使うチームドローイングやタワーゲームも盛り上がりました。考えを出し合い団結した班ほど高くそびえ立つ立派なタワーができていました。

午後は、NPO法人大和Companyから、「ジュニアにとって身に付けたいこと」というテーマで、子ども達を相手にゲームを行うときのやるべきことや心構えなど、詳しく教えていただき、リーダーとしての資質を高めることができました。講習では、事前に、場所の確認や人数、子どもの年齢、男女の割合などの下調べが大切であることを学びました。

後半は、実際に頭や体をフルに動かして取り組むレクリエーションに歓声をあげながら、楽しむ姿が見られました。大和Companyの方から「ゲームの流し方」「分かりやすい説明の仕方」「盛り上げ方」「間の取り方」などを教えていただき、リーダーとして今後子どもたちの前に立つこのメンバーにとって、とても実になる1日研修となりました。

ジュニアリーダーは、各市で行われる子ども会活動のお手伝いができるように、いつでも準備はできています。是非、活躍できる場をつくってあげてください。また、指導者は後継者が見つからず困っているようです。子ども会は、「明日の子ども会を担う力と人材」を求めています。ジュニアリーダーを育成する働きかけをお願いします。



【大和Companyからのお話の様子】



【最後にジュニアリーダー全員そろって記念撮影】